

## 志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成21年3月末現在では、佐倉市の総人口175,601人に対し志津地区の人口が73,566人となっておりその割合は41.89%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでおります。

ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきております。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっております。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩3分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっております。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティーセンター」「志津図書館・分館」「ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られております。

# 管 理 ・ 運 営 の 部

## 1 . 公 民 館 運 営 計 画

---

### 運 営 方 針

佐倉市立公民館運営の基本理念を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつまめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

### 努 力 目 標

多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。

学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。

学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。

### 事 業 内 容

#### 1 . 学 級 講 座 の 開 設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

#### 2 . グ ル ー プ や 団 体 の 育 成 援 助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会育成会をはじめ、青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

#### 3 . 広 報 活 動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

#### 4 . 図 書 活 動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

#### 5 . 施 設 の 提 供

原則として、2か月前の月始めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。

・ 開 館 日 時

月・火・日曜日	9時～17時
水・木・金・土曜日	9時～21時30分
(夜間の使用申込がない場合は17時で閉館)	

・ 休 館 日

第2・第4月曜日 及び 年末年始 12月28日～1月4日

## 2 . 公民館の利用状況

---

### 年度別利用状況

年度 区分	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
利用件数	4,030	4,307	4,326	4,313	4,661
利用人数	54,728	55,530	59,548	57,596	62,313
開館日数	333	333	333	334	333

# 事 業 の 部

領域	事業名	対象	期間・回数	内 容	
家庭教育	お母さんと遊ぼう	2歳児と母親 30組	6月～12月 全12回	親子のふれあいを考え、親子遊びの中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるための親の態度を学んだ。	
	家庭教育講座	オータムフルーツで ケーキ作り	小学生の子どもを 持つ母親 20名	10月30日(木) 1回	子育て中の保護者を対象に、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、そのアプローチの一端を、スポーツ・手芸・食の分野から提案する。
		親子で体験 軽スポーツ	小学生低学年とそ の保護者 15組	11月8・15・2 29日(土) 全4回	
		「ほっ」とひと息 絵手紙講座	子育て中の保護者 20名	12月3日(水) 1回	
		笑顔あふれる 親子スポーツ広場	小学生と保護者 15組	12月21日(日) 1回	
青少年教育	佐倉っ子塾	志津子ども教室	小学生低・高学年 各7名～16名	5月～12月 全10回	佐倉の地域素材をおりませながら、体験学習等を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育み、交流の場と仲間づくりの機会を提供する。
		理科実験教室	小学生 低・高学年 別 各15名	6月22・29日 11月9日 全3回	
		自然環境を学ぶ	小学生低・高学年 各10名～15名	6月15日・7月6 日 10月12日 全3回	
成人教育	佐倉学	「井野長割遺跡」 を学ぶ	市民 25名	11月5・12・1 9 26日(水) 全4回	郷土の歴史・自然・文化にふれ、わがまち佐倉を知り、地域への親しみと愛着を育むとともに、講座を通して地域人材の育成と地域団体との連携を深め、地域の教育活動の促進を図った。
		園芸講座 (ボランティア育成)	市民 70名	9月5・19日 (金) 全2回	
		地域づくり入門講座	市民 50名	11月13・20 27日(木) 全3回	
		佐倉の自慢あれこれ	市民 20名	11月16日 1月15日の全2回	
成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	市民 40名	6月～2月 17回	郷土の成り立ちについて学び、地域に生きる力を育んだ。
		リフレッシュ健康学	市民 40名	6月～2月 15回	健康管理を対象として学習し、地域住民と連携し健康増進を図った。
		おやじの食事学	市民 30名	6月～2月 15回	食事作りの技術を学びながら仲間作りと地域の交流を図った。

	文化活動	市民 30名	6月～2月 15回	市内文化施設の事業を中心に、幅広く文化・芸術について学び、地域の文化振興を図った。
	研究科コース - 志津の一年 -	市民大学修了生	6月～3月 19回	志津地域における自然・伝承行事・花や樹木・現代の行事などについて一年間の移りかわりを調査した。
	特別科目	市民大学受講生	9月～2月 4講座 16回	しづ市民大学講座生を対象とする初心者から中級者向けのパソコン講座を実施した。
団 体 育 成	第35回志津公民館祭	志津公民館 利用グループ	10月 24日 25日・26日 の3日間	学習成果の発表や展示を通して、地域の交流の場作りや学習機会の提供を行った。また、第35回の記念事業として初回からの実施資料をまとめ「志津公民館祭のあゆみ」を発行した。
	調理室利用者懇談会	志津公民館 調理グループ	6月30日(月) 1回	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用グループ間の交流を図った。
	定期利用グループ グループ運営研修会	志津公民館 利用グループ	3月16日(月) 1回	グループ活動の意義、運営の方法を学ぶことから、自主性を高め、地域活動を考える場とした。
	志津地区子ども会 育成会連絡協議会 (志子連)	志津地区の 安全会加入 子ども会 9団体	通 年	各種事業への援助と育成を通じて、健全な発展を目指した。
	志津ジュニア・ リーダース・クラブ (志津JLC)	青少年 20名	通 年	「志津JLC」の行う各種事業への支援を通じて、JLの養成を図った。
	相談・カウンセリング 等の援助事業	活動団体	通 年	相談・カウンセリング活動を行う団体に相談会場を提供し、住民の問題解決の場を整備した。
	“しづ”のまちづくり 支援事業	活動団体	通 年	志津地区の各種情報をホームページなどの媒体をとおして発信し、志津のまちづくりに活かした。
広 報 活 動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区新聞折込 市内主要施設掲示 配布	5月 10月 1月 全 3 回	志津公民館事業の案内、意見・情報等を提供し、公民館活動への理解と認識を深めた。
図 書	図書等の貸し出し	一般	通 年  14日以内	地域団体や公民館で作成したビデオや図書の貸し出し業務を行うとともに、佐倉市の情報発信に勤めた。

# 1 . 家庭教育事業

## お母さんと遊ぼう

開設趣旨 「育児」は親が子どもを一方向的に育てることと思われがちであるが、子どもの成長を見守りながら、親も子どもと共に成長することを理解する必要がある。

親子のふれあいや日常生活の中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるとともに、親同士の交流をはかり、楽しみながら「育児は育自」ということを母親が体験し、自身の生き方を考える。

対 象 2歳児と母親30組

開設期間 6月～12月の金曜日  
午前10時～11時30分

ただし「家族と遊ぼう」は6月22日(日)に実施

指 導 者 蓮 淳子(幼児教育研究家)他

会 場 志津公民館(大集会室)・市内公園施設等

### 学習プログラム

回	月・日(曜日)	テーマ	学習内容
1	6月6日(金) 10:00～11:30	あそびましょう 開講式	見つめて、ふれあって、抱っこして 楽しい出会いをはじめましょう。
2	6月20日(金) 9:30～14:00	遠足 仲良くなるろう	佐倉城址公園を散策し、歩く楽しさを発見。 広場では、ゲーム遊びを楽しみます。
3	6月22日(日) 10:00～11:30	家族と遊ぼう	家族で協力しておもちゃを作ります。
4	7月4日(金) 10:00～11:30	お星様がいっぱい	お母さんが作った星をのりで貼り七夕の飾りを作ります。
5	9月5日(金) 10:00～11:30	工夫して遊ぼう	お手玉や布を使って遊びます。グループごとに 考えた遊びの発表もします。
6	9月19日(金) 10:00～11:30	子供を知ろう	先生のお話を聞きながら子どもを知りましょう。
7	10月3日(金) 10:00～13:30	遠足 秋をさがそう	土に親しみ収穫の喜びを体験しましょう。 みんなでお餅つきをしましょう。

8	10月17日(金) 10:00~11:30	食事を考えよう	幼児期に必要な栄養を知りましょう。
9	10月31日(金) 10:00~11:30	造形あそび	家族で思い出に残る作品を作ります。 遠足で拾ったどんぐりもいかしてみましょう。
10	11月7日(金) 10:00~11:30	絵本を読んで もらおう	図書館の司書さんに本を読んでもらいましょう。
11	11月21日(金) 10:00~11:30	運動あそび	リズム運動や親子体操を通して子どもの発達と成長を考えます。
12	12月5日(金) 10:00~13:30	クリスマス お楽しみ会 閉講式	グループ発表で思い出を作りましょう。

#### 講座を終えて

核家族化が進行し親子の関係が希薄化している現代社会において、遊びなどを通じて積極的に親子でふれあい子育てをしながら自分自身も成長する。また2歳児の子育てに奮闘中という同じ環境にあるお母さん達の仲間づくり、情報交換の場所を提供するこのようなねらい持ち本講座を企画した。

バス遠足では目的地に向かうバスの中から大はしゃぎで手遊びなどをして楽しみました。動物園につくと多少の雨にもかかわらず、子ども達は元気に動物などを見て回り、体験コーナーではハツカネズミに直接触れ大喜びでした。「大きなバスに乗ってたくさんのお友達と一緒に行くバス遠足」では普段行き慣れている場所でもいつもとは違った体験を味わえ、またお母さん達も積極的にコミュニケーションをとりあう場面がみられ本講座のねらいである仲間づくりの場にもなった。

クリスマス会では毎年恒例になっている発表会を班ごとに分かれておこなった。お母さんと子ども達が一緒に歌を歌ったり、ダンスを披露したり各班それぞれ個性的で楽しい発表会になりました。発表するにあたり事前に打合せを行い「発表」という目標に向かい班員が協力して一つのものを作り上げる。発表自体も重要だが、その過程こそが大切でお母さん達のいい交流の場になった。最後にサンタさんが登場しプレゼントをもらったり一緒に写真をとったりして楽しんだ。

今年度の参加者は早い段階からコミュニケーションをとりあい回を重ねるごとに交流が深まっていき講座が終わる頃には自分の子、他人の子かわらず注意すべきところは注意する姿がみられるようになった。自分の子どもすら叱れない親が増加している現代において「他人の子どもを注意する」簡単なことに思えるが実践している人は少ないのではないだろうか？他人に対して「いけないことはいけない」と愛情を持って叱り「地域全体で子どもを育てる」。このような気持ちを持った親が少しでも増加し、将来的にはこのような感覚が当たり前である地域づくりを目指して今後も講座実施していきたい。

## 家庭教育 「 家庭教育講座 」

開設趣旨 子育て中の保護者を対象に、子どもが健全に育つための、家庭のはたらきや、あり方、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、そのアプローチの一端を、スポーツ・手芸・食の分野から提案する。

対 象 志津地区在住の小学生と保護者  
講 師 別表のとおり

### 学習プログラム

回	日 時	教 室 名	講 師	内 容	参加者数
1	10月30日(木) 9:30～13:30	オータムフルーツでケーキ作り～ 子育ての悩みを共有しよう～	フードコーディネーター 加藤 富美子	食育について学ぶ。また子育ての悩みを共有しながら、家庭でできるお菓子の作り方を学ぶ。	18名
2	11月8.15.22 .29日(土) 14:00～16:00	親子で体験・軽スポーツ (フットサルに挑戦)	フットサルコミュニティー・コーチ 高橋 健	集団で共通のルールのもと、運動することの素晴らしさを体験する。	13名
3	12月3日(水) 10:00～12:00	「ほっ」とひと息、絵手紙講座～ 絵手紙にしたら、日常のひとコマにも素敵な再発見があるかも！？ ～	「絵手紙を描く会」講師 稲葉 トヨ子	初心者向けの絵手紙の書き方を学ぶ。	12名
4	12月21日(日) 10:00～12:00	笑顔あふれる親子スポーツ広場～親子で簡単！体遊びで運動能力をのばすヒントを学ぶ ～	日本ランナーズ 北 晃・結城 玲美	家庭でできる簡単ストレッチや体遊びを親子で行う。また、運動能力を高める要素を含んだ楽しいトレーニングを行う。	13名

### 講座を終えて

#### 1. オータムフルーツでケーキ作り

同年代の子どもを持つ母親たちを対象に、日頃子どもと一緒にだとなかなか言えない悩みを共有する機会を設けたいと思い、この講座を企画した。講師自身の子育ての体験談も交えて、家庭の悩みについて話し合いながら、栗やルクチェ等の秋の素材を使ったロールケーキとワインゼリーの作り方を学んだ。家に帰ってから応用がきくレシピだったので、アンケートからは子どもと一緒に作ってみたいという意見もみられた。普段忙しい毎日の中で、手作りのお菓子を作る楽しさを忘れていた母親たちが、手作りの楽しさを再確認することができたのではないかと考える。そして家庭の働きやあり方について考えるきっかけになったと考える。今後は対象を親子とし、親子がコミュニケーションを密にとれるような講座を考えていきたい。



## 2. 親子で体験・軽スポーツ（フットサルに挑戦）

「子供と一緒になにかしたい」そんな思いを持っている親は多いのではないかと。親子で一緒に取組めるもの、楽しめるもの、同じ話題でコミュニケーションがとれるものはないだろうか？現在の子供達が遊びの中で一番夢中になっているものといえばテレビゲームだろう。空想の世界が悪いとは言わないが、実際に体を動かし汗をかき空想ではなく現実の世界を体験する。始めはなかなかゲームのようにはいかないが、段々と出来なかった事ができるようになる。共通のルールのもと親子で話をして試行錯誤しながら体験する。このような主旨で本講座を開設した。

本講座は同じ参加者で全4回実施し、回を重ねるにつれ会話も弾むようになり、お互いを名前で呼び合いルールを守らない子供がいると他の親が注意するなど関係が深まっていった。アンケートでも「普段親子でふれあう機会が少ないのでいい機会になった」など参加してよかったという意見が多かった。今後もこのような機会を提供していきたい。

## 3. 「ほっ」とひと息、絵手紙講座

メールや携帯が普及する中、コミュニケーション手段として「手紙」が果たす役割は少なくなった。スピードという点ではメールや携帯に敵わぬものの、スピードを要する多くの事務的伝達をメールや携帯に任せてしまえる現在だからこそ、純粋なコミュニケーション手段として「手紙」を考えることが可能になったとも言えよう。そんな中で本講座が目指したものは「（日常の見慣れたものからの）新しい発見が、生活を彩り、豊かな気持ちにしてくれるという可能性」メールや携帯の普及の中で「手紙で想いを伝える素晴らしさ、周囲とのコミュニケーションの大切さ」等である。

利便を「目的」として追求し続けるのではなく、利便を「手段」として余裕を楽しむということも、現代に生きる我々に与えられた一つの選択肢である。回収アンケートでは半数以上の方が、本講座趣旨が「達成されている」または「少し達成されている」と回答され、「楽しかった」という感想だけでなく「久しぶりに友へ手紙を書きたくなりました」との回答も見受けられた。これらから伺えるのは、本講座が、利便や必要という採算を抜きにした「純粋なコミュニケーション」について考える幾ばくかのきっかけになり得たということだろう。今後も「現代に生きる我々ゆえにし得ること」に着目し、講座を企画してゆきたい。

## 4. 笑顔あふれる親子スポーツ広場

最近はお子さんの塾通いが増えていたり、公園などの遊ぶ場所も限られてきており、親子でふれあう機会が少なくなっているのではないかと。

楽しく体を動かす時間を親子で共有することで、家族のコミュニケーションを深める機会になればとの思いから、この講座を開設した。体を使った遊びを通じて、保護者の方々には子どもたちの運動能力を伸ばすヒントを学んでもらい、子どもたちには体を動かすことの楽しさを感じてもらった。保護者からは「メタボ予防になった」との意見もあり、日頃の運動不足解消につながったと考える。

## 2 . 青少年教育事業

### 佐倉っ子塾 「 志津子ども教育 」

開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習をとおして、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

対 象 志津地区在住の小学生 (低学年・高学年別に募集)

講 師 ボランティアサークル及び地域活動グループ

#### 学習プログラム

##### 【小学1～3年生】

回	日 時	教 室 名	講 師	内 容	参加者数
1	6月15日(日) 10:00～12:00	ちぎり絵&水彩画	スケッチブック	色紙と絵具で楽しく描く	11名
2	7月13日(日) 10:00～12:00	むかし遊び&影絵	影絵塾9(影絵) 子育て支援会(むかし遊び)	むかしの遊びと影絵	15名
3	10月19日(日) 10:00～12:00	ちぎり絵&水彩画	スケッチブック	色紙と絵具で楽しく描こう。	12名
4	11月23日(日) 10:00～15:00	陶芸にチャレンジ	美術館長 荒井 誠	湯呑・皿・器など陶芸作品を作ろう。	34名

##### 【小学4～6年生】

回	日 時	教 室 名	講 師	内 容	参加者数
1	5月18日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学 同好会	佐倉風手打ちうどん	15名
2	5月25日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学 同好会	房総太巻き寿司	16名
3	11月2日(日) 10:00～12:00	竹工作にチャレンジ	市民カレッジ OB同好会	竹馬・竹トンボ・竹かご等を作ろう。	13名
4	11月16日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学 同好会	おめかしサツマイモ スイートポテトを作ろう	16名
5	12月7日(日) 10:00～12:00	茶道体験	千珠会	気軽に楽しくお茶の心を学ぼう	8名
6	12月14日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学 同好会	おせちに挑戦! - お煮しめを作ろう -	15名

## 講座を終えて

### 影絵&むかし遊び

子どもたちは影絵を鑑賞し、影絵の仕組みを目の当たりにすることによって、昔人の知恵とロマンに触れるという貴重な体験をした。また「ビー玉」「ケン玉」「わりばしでっぼう」等、自分の身体を使った遊びによって、電子化された遊びとは異なった遊びの楽しさを体験した。

### ちぎり絵&水彩画

身近なチラシ広告を材料にちぎり絵を制作することで、普段ゴミとして捨てたり、リサイクルのために古紙回収に出すだけになっているチラシの可能性に目を向ける。また、普段接することの少ない地域方々に指導を受けることで、温かい目で見守ってくれる地域の大人の存在を実感してもらう。これらのことを、気負わず、ごく自然に、楽しみながら体験することが出来た。

### ちぎり絵&水彩画

秋の素材をよく観察し、ちぎり絵を完成させた。チラシを使うことで、エコについても考えるきっかけとなった。また、共同で大きい題材(チューリップ畑)の水彩画にも挑戦し、個人の作品とともに志津公民館祭にて展示を行った。

### 陶芸にチャレンジ

陶芸の世界への挑戦と発見を体験することで、造形・立体的な感覚を養い「物づくり」の楽しさを知ることができました。なお、募集人数の二倍を超える応募者があり、午前・午後の二部制により講座を実施することで応募に答えた。受講した子どもたちは作品の出来映えに満足の笑顔があふれていた。

### 竹工作にチャレンジ

竹トンボ・竹笛・竹コップなどの製作に挑戦し、ノコギリ・ナイフ等の使い方を学びながら竹の素材を知り、自作した作品で遊びながら「作る楽しさ」「できる自信」を実感することができました。また、子どもたちの作品は個性的で製作者のアイデアあふれる作品となった。

### クッキング 「佐倉風手打ちうどん」

普段は買って食べるうどんを粉から作るという体験を通して、作る苦労や自分で作った物を食べる喜びを実感していた。佐倉の特産品の大和芋やお茶を使うことで、地域に目を向けるきっかけとなり、地元への関心や親しみも感じる事ができた。

### クッキング 「房総太巻き寿司」

子どもたちは、色彩豊かな具材を使ってどんな模様の太巻き寿司ができるかドキドキしながら作っていた。金太郎飴のようにどこを切ってもきれいな花の絵柄が現れ、見て食べて2度おいしい太巻き寿司に満足していた。「食育」のテーマである郷土料理の伝承にもつながった。

### クッキング 「スイートポテトを作ろう」

身近な季節の食材を用いて料理することで、自然の恵みを実感しながら「料理」の面白さを知った。また、普段作るよりも買う機会が多いと思われるお菓子を作ることで、買わなくても作れるものがたくさんある、という創造の可能性を体験した。

### クッキング 「お煮しめを作ろう」

おせちの一品を作ることで「節日」という伝統について考え、昔の人々がどのような願いを込めておせちを作り上げたかを考えるきっかけとなった。それによって、料理の「食べる」という側面だけでなく「文化」という側面についても学ぶことが出来た。

### 茶道体験

「茶道の精神」は堅苦しいものと思われがちだが、実は私たちの日常生活の中に深く息づいているものである。参加した子どもたちは、はじめは慣れない作法にとても緊張した面もちだったが、お辞儀の仕方や抹茶とお菓子のいただき方を一生懸命学んでいた。また、茶道を通して私たちの中に流れている「人に対する思いやり」や「物を大切にすること」を感じていた。

## 佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

開設趣旨 身近な素材を活かし地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、青少年の自主性と健全育成を図る。

対 象 志津地区在住の小学生 低学年・高学年別 各15名

講 師 自然科学の会（公民館サークル・同好会）

### 学習プログラム

#### 【 小学1～3年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	6月22日(日) 10:00～12:00	万華鏡をつくって楽しもう	身近なもので理科実験 身近な材料を使って万華鏡を製作し、光と色のマジックを体験する。	17名
2	6月29日(日) 10:00～12:00	空気砲で遊ぼう	身近なもので理科実験 空気砲・空き缶つぶし・風船糸電話などにより空気のふしぎを体験する。	18名

#### 【 小学4～6年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	11月 9日(日) 10:00～12:00	身近なもので電気を作ってみよう	身近なもので理科実験 くだもの電池・備長炭電池を作って実験し電気のふしぎを体験する。期待されるクリーンエネルギーの燃料電池・太陽光発電について学ぶ。	15名

### 講座を終えて

小学生を対象とした「佐倉っ子塾」講座の一つであり、子どもたちに理科系の体験学習の場を提供することにより、ふしぎな世界を感じながら探究心や想像力・発想力などを培い、新しい仲間と「ふしぎなこと」について話し合いをする中で友だちを増やすことができました。参加者が少数でしたが、子どもたちの歓声が教室内に響き渡り活気あふれる学習時間となりました。

なお、実験の指導に協力していただいた、「自然科学の会」の皆様による万全を期した準備と熱意により、不思議で楽しい実験教室となり大変充実した講座が展開できました。

今後においては、子どもたちの生活の中にある身近な「ふしぎ」についてをテーマとして、実験・体験・工作教室などを継続的に展開して開設趣旨の実現を目指します。

佐倉っ子塾 『 自然環境教室 』

開設趣旨 地域住民の協力をもとに身近な自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性をはぐくむ。

対 象 志津地区在住の小学生 ( 低学年 10名 高学年 15名 )

講 師 しづのまち歩こう会 ・ 本部 三枝子 (ボーイスカウト日本連盟理事)  
友野 文夫 ・ 千葉県水産総合研究センター職員

学習プログラム

【 小学4～6年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	6月15日(日) 10:00～12:00	ネイチャーゲームに挑戦	どこにでもある自然の素材を使い、工夫しながら楽しく遊ぶことを体験する。	6名

【 小学1～3年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	7月6日(日) 10:00～12:00	自然遊び	身近にある自然を散策し、自然にふれることの楽しさを体験する。	10名
2	10月12日(日) 10:00～15:00	自然体験バスツアー	マイクロバスで各地を回り、様々な自然体験する。	17名

講座を終えて

マイクロバスで各地をまわり、身近にある自然を散策し探検することにより、家の中では体験できない新しい発見がたくさんあり、また短い時間でしたが同じ時間を過ごすことで新しい仲間もでき、貴重な経験になりました。

自然にふれ探検している子どもたちの表情は豊かで、仲間との会話もはずんでいました。

このような充実した時間を過ごせたのも、協力していただいた講師の皆様の入念な事前準備、熱心な指導があったからだと感じます。

また、高学年の講座では行き慣れている公園を舞台に、普段見落としている自然の素材を使い工夫しながら楽しく遊ぶことができた。また始めてあった子供達が協力して一つのもを作りあげることによって協調性を育むことができました。

今後も身近にある自然をテーマに「自然にふれることの大切さ、楽しさ」を体験できる機会を継続的に提供していきたいと思います。

### 3 . 成人教育事業 - 1

#### 佐倉学講座「井野長割遺跡」を学ぶ

開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

対 象 志津地区の一般成人 25名

講 師 市職員（文化課職員）・（財）印旛郡市文化財センター職員

#### 学習プログラム

	日 時	学 習 内 容	講 師
1	11月 5日(水) 10:00~12:00	基礎知識編 考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子
2	11月12日(水) 10:00~12:00	遺跡の紹介 井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化財センター 小倉 和重
3	11月19日(水) 10:00~12:00	遺跡の見学 現地の遺跡を見学し知識を深める	文化課職員 松田 富美子
4	11月26日(水) 10:00~12:00	今後のあり方 保存に至る経緯 井野長割遺跡の今後について	文化課職員 猪股 佳二 松田 富美子

#### 講座を終えて

「佐倉学」を実践していくための講座の一つであり、郷土の歴史・文化・自然そして先覚者などの、佐倉市でなければ学べない身近な市民文化資産を教材として、地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動を展開していくステップとなることを願って実施した。

受講生は、縄文時代にロマンを馳せて、出土した土器などに眼を輝かせ、講師の話をも熱心にメモを取り、質問や意見を交換しあって活発な学習の場となった。

遺跡は、縄文時代中期から晩期の集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され、佐倉市の重要な文化遺産となっております。

最後に、「井野長割遺跡」を地域住民として（受講生が）今後のあり方について考え・行動し、行政と協力しながら、後世にいかにか引き継ぐべきかが課題となりました。

## 佐倉学講座 「 園芸講座 」(ボランティア育成)

開設趣旨 園芸の基本を季節に応じて学び、そのうえで地域の環境美化について考え、地域づくりのボランティア実践を図る。

対 象 一般成人 各回70名

講 師 八板義教(グリーンアドバイザー)

### 学習プログラム

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	9月5日(金) 13:00～15:00	上手な花づくり 土と肥料	園芸用土の種類と特性や肥料等、園芸にとって一番大事な土作りについて学ぶ。	31名
2	9月19日(金) 13:00～15:00	草花の管理と秋の種 まき	美しい花を数多く、丈夫に育て、長く咲かせ続けるための管理や日頃の手入れの基本的なポイントを学ぶ。	27名

### 講座を終えて

本講座は園芸の基本を学ぶことで、自分の家の庭から地域の緑地環境へ関心を持っていただき、将来的には地域の環境美化、地域のボランティア育成に繋がることを目的としている。

回収アンケートでは、半数以上の方が、講座の目的が「達成されている」「少し達成されている」と回答くださり、その回答比率は近い数値を示していた。

しかし「社会活動や地域づくりへの意欲が高まりましたか?」という設問に対しては、半数以上の方が「たいへん高まった」「少し高まった」と回答くださったものの、その回答比率は後者が圧倒的であった。

これらのことが指し示すものは、思うと行うとでは(例え想念上だけでも)大きな違いがあるということであろう。

地域のボランティアとして地域美化に努めるということは、大変骨の折れることであり、継続して行うともなれば、体力的にも相当な負担である。

これらの事々や、公民館事業に参加くださる方々の年令を考えれば、本講座はもっと若年層の参加を開拓してゆく必要があると思われる。

今までも、そして今回も本講座は平日設定であったが、若年層の参加を期待するのであれば、現実に参加されるかどうかは別としても、一般的に若年層が受講し易いと考えられる土日に設定することを、今後おいに検討する必要があると思われる。



## 佐倉学講座 「 地域づくり入門講座 」

開設趣旨 消防署、警察署や、民間ボランティア団体等の協力を仰ぎ、地域住民の暮らしに役立つ情報を学ぶ。

対 象 一般成人 各回 50名

講 師 千葉農政事務所職員

### 学習プログラム

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	11月13日(木) 10:00～12:00	食の安全、消費者の 信頼確保のための取 組み	農畜産物の安全性確保のための取組みや生産者の現状を学ぶことで、消費者としての正しい知識を身につける。	5名
2	11月20日(木) 10:00～12:00	食品の表示	JAS制度等、食品表示の基本的な見方について学ぶことで、消費者としての正しい知識を身につける。	11名
3	11月27日(木) 10:00～12:00	食事バランス ガイド	世代や生活スタイルに合わせたバランスのとれた食生活と食事バランスを学ぶことで、健康な生活を目指す。	13名

### 講座を終えて

「食の安全が問われる今、家族の健康を守るために何をすべきか？」を考えるきっかけとなるよう、本講座は千葉農政事務所職員の方を講師に迎え、食に関わる3回の講座を行った。

その道の専門家によるせっきくの機会を設けたにも関わらず、定員は設定した程には伸びなかった。しかしながら、受講した方々は皆さん熱心に講師の話に聞き入っておられた。回収アンケートにあった「根本的に安全安心は個人では出来ないもので、国、自治体など協力して食の安全確保を実行してほしい。もちろん私達も協力します」という一参加者の意見は、大方の参加者の思いを代弁する意見であろう。

受講者が定員を満たしていなかったにも関わらず、講師は「今後もこういった機会があればぜひ」と快く今後の講座についても協力を申し出てくださいだったので、広報活動に新たな工夫を試みながら、引き続き「食の安全」に関わる講座を企画してゆきたい。

## 佐倉学講座 「佐倉の自慢あれこれ」

開設趣旨 井野の辻切り、どんど焼き等地域の伝承文化の紹介や、佐倉の特産物を使用した料理の体験講座。

対 象 成人一般市民 各回20名

講 師 印旛地域米粉普及会佐倉支部職員

### 学習プログラム

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	1月15日(木) 10:00~14:00	米粉で クッキー作り	米粉の基礎知識を学び、実際に佐倉の米粉でクッキー作りを体験することで、地場の特産物を始めとする農産物への関心を高める。	19名
2	1月16日(金) 10:00~14:00	米粉で パン作り	米粉の基礎知識を学び、実際に佐倉の米粉でパン作りを体験することで、地場の特産物を始めとする農産物への関心を高める。	23名

### 講座を終えて

本講座は「地域の特産物等、地場のものを利用した料理を学ぶことを通して、地域への愛着の念を深めていただき、地域社会をより良くするにはどうすべきか？を再考いただくきっかけとなること」を目指した。

講座実施にあたっては、(クッキングというタイトルを冠したものの、佐倉学の観点からの米粉普及が目的であった為)「何故、今、米粉なのか？」ということテーマとして、農政課職員による講義の時間を設けた。

講座終了後のアンケートからは「もっとこういった機会が欲しい」「地場の物産物を利用してもっともっと地域発展をしていければ・・・」「米粉をこれからとり入れていきたい」等々の意見が出され、多くの方が食だけに留まらず、地域発展へも高い関心を持っていることが伺えた。

「地域社会のこれからをより良くする為には？」に言及されるだろう佐倉学のテーマは、多くの人にとって些か捉え難いものであり、この捉え難い目的を如何なる手段で達成するか？についても、十人十色の捉え難い世界であろう。しかし、「親しみやすい素材を手段とする」ことが、最速・最短の手段であろうことに、大方の意見は一致するはずである。

「食」という自己保存という本能に関わるテーマは、多くの人にとって、まさに「最も身近で親しみやすい素材」であり、取り組み難いとも思える「地域社会」というテーマを、身近なものにしてくれる手段として有益であるばかりでなく、食の安全が問われる昨今、「食」自体がわたしたちの抱える大きなテーマのひとつと思われる。

今後も「地域社会」について多角的視点からのアプローチを図るとともに、「食」というテーマについても考察してゆきたい。

### 3 . 成人教育事業 - 2

#### しづ市民大学（第19期）

##### 【開設趣旨】

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設します。

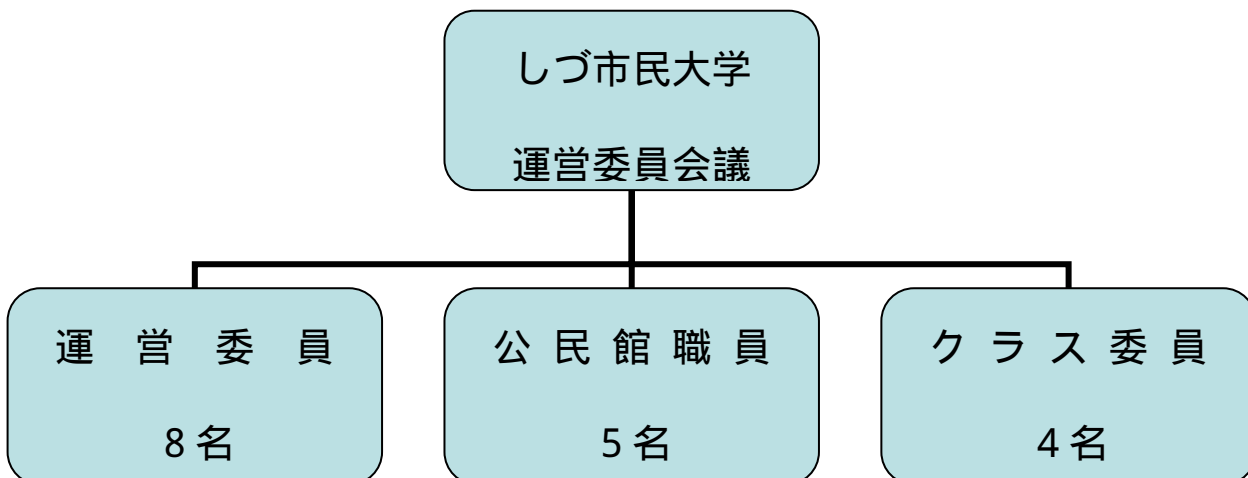
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図ることも含まれます。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の二つとし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開します。

- (1) 自主的な学習活動の促進  
(個人的な参加型の学習から地域への展開)
- (2) 生涯学習を進めるまちづくり  
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指します。

##### 【しづ市民大学運営関係図】



## 【 開 設 講 座 】

### 一般コース（専科 四コース）

1. **しづ学入門（定員40名）** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
2. **リフレッシュ健康学（定員40名）** 地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取組むことにより本来人間がもっている治癒力をとりもどし体の中から改善する健康づくりを地域全体で考えます。
3. **おやじの食事学（定員30名）** 男性を対象に、調理の基本から衛生面や環境への配慮など、食について学びます。おやじの食事学修了生をはじめ、地域の方々のご協力を得て、食の観点から、知識や交流を深めます。
4. **文化活動（定員30名）** 市内文化施設で行われている事業を中心に、文化・芸術振興についての取り組みを知るとともに、学習成果を活かした市民活動の事例から地域文化の活性化について考えます。

### 研 究 科

- \* 一人ひとりの生きがいの発見、地域の仲間づくりを通して、住み良いまちづくりを具体的に実践していくために、しづ市民大学の修了生を対象として研究科を開設する。  
ゼミナール方式により学習を進め、参加者が自ら学習課題を見つけて、その課題について調査研究及び議論を行い、その成果を記録する。

## 【 受 講 費 用 】

### 無 料

ただし、教材費・材料費・入場料  
保険料などの実費は自己負担とする。

## 【 連 携 ・ 協 力 団 体 】

### おやじの食事学同好会

#### おやじの食事学井野中サークル

- ・食事学事業の指導及び助言
- ・地域行事における食事提供等

### HP しづのまちづくり会

- ・パソコン特別講座の開設及び指導
- ・OBの情報交換（HP・メール情報等）

## しづ学入門

### 【開設趣旨】

佐倉や志津を知ることを中心に、地域の歴史・文化・自然などについて学習します。見学や共同作業、野外散策など参加する学習方法取り入れています。自分たちの住んでいる地域を学ぶことで、身近な地域の課題やこれからのまちづくりを考えます。

### 【学習プログラム】

回	日 時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月31日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演 「 体幹ランニング 」 【小竹小学校(体育館)】		NPO ニッポンランナーズ 理事長 金 哲彦
2	6月14日(土) 13:30~16:00	佐倉にゆかりのある人物 【志津公民館 大集会室】		中央公民館 館長 内田 儀久
3	6月28日(土) 13:30~16:00	千葉県の成り立ち =明治・大正の変遷= 【志津公民館 大集会室】		郷土史研究家 樋口 誠太郎
4	7月12日(土) 13:30~16:00	江戸時代の佐倉と史料 【志津公民館 大集会室】		市史編さん担当 職員 土佐 博文
5	7月26日(土) 13:30~16:00	志津の歴史 =史跡・小字・民俗行事など= 【志津公民館 大集会室】		郷土史研究家 高橋 三千男
6	9月13日(土) 13:30~16:00	佐倉の教育 =志津の教育史= 【志津公民館 大集会室】		和洋女子大学 教授 関山 邦宏
7	9月27日(土) 13:30~16:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】		教育委員会 文化課 猪股 佳二
8	10月11日(土) 10:00~16:00	城下町佐倉散策 【市内佐倉地区 散 策】		ガイドボランティア 永見 一
9	11月8日(土) 13:30~16:00	印旛沼の変遷 【志津公民館 大集会室】		内水面水産研究所 上席研究員 川津浩二
10	11月22日(土) 13:30~16:00	市民公益活動を学ぶ 【志津公民館 大集会室】		自治人権推進課 職員 上野 裕子
11	12月13日(土) 13:30~16:00	地球環境問題 =私たちは何をすれば= 【志津公民館 大集会室】		工学博士 中岡 章
12	1月10日(土) 13:30~16:00	野鳥ウォッチング 【志津公民館 大集会室】		日本野鳥の会 会員 浅野 俊雄
13	1月24日(土) 13:30~16:00	裁判員制度を学ぶ 【志津公民館 大集会室】		千葉地方検察庁 職員 相場晋・柴田義典
14	2月14日(土) 13:30~16:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】		運営委員及び職員
15	2月28日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティーセンター】		運営委員及び職員

## リフレッシュ健康学

### 【開設趣旨】

地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取り組むことにより本来人間がもっている治癒力をとりもどし体の中から改善する健康づくりを地域全体で考えます。

### 【学習プログラム】

回	日 時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月31日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演「 体幹ランニング 」 【小竹小学校(体育館)】		NPO ニッポンランナーズ 理事長 金 哲彦
2	6月7日(土) 9:30~12:00	森林浴を楽しもう 【志津公民館 大集会室】		ボーイスカウト日本連盟 理事 本部 三枝子
3	7月5日(土) 9:30~12:00	軽スポーツを学ぼう 【上志津小学校】		社会体育指導員 六崎 美知代
4	7月26日(土) 9:30~12:00	ヨーガに挑戦 【志津公民館 大集会室】		ヨーガインストラクター 平井 美守珠
5	8月2日(土) 9:30~12:00	タオルで健康体操 【志津公民館 大集会室】		健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
6	9月6日(土) 9:30~12:00	気軽に運動 - フェルデンクライス健康法 - 【志津公民館 大集会室】		順天堂大学名誉教授 武井 正子
7	9月20日(土) 9:30~12:00	太極拳ってなに? 【志津公民館 大集会室】		日本武術太極拳連盟指導員 竹村 裕子
8	10月4日(土) 9:30~12:00	イスを使って「ころばん体操」 【志津公民館 大集会室】		社会体育指導員 六崎 美知代
9	10月18日(土) 9:30~12:00	健康的に歩こう 【西志津多目的広場】		千葉県ウォーキング協会
10	11月15日(土) 9:30~12:00	メタボリックをやっつける 【志津公民館 大集会室】		西部保険センター職員
11	11月29日(土) 9:30~12:00	救急講習 - いざというとき役に立つ - 【志津公民館 大集会室】		消防署職員
12	12月6日(土) 9:30~12:00	食と健康 【志津公民館 大集会室】		西志津中学校栄養士 小林 由紀子
13	1月24日(土) 9:30~12:00	バランスを考えた食事作り 【志津公民館 調理室】		西志津中学校栄養士 小林 由紀子
14	2月7日(土) 9:30~12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】		運営委員・職員
15	2月28日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティーセンター】		運営委員・職員

## おやじの食事学

### 【開設趣旨】

男性を対象に、調理の基本から衛生面や環境への配慮など、食について学びます。おやじの食事学修了生をはじめ、地域の方々のご協力を得て、食の観点から、知識や交流を深めます。

### 【学習プログラム】

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月31日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演「体幹ランニング」 【小竹小学校(体育館)】	NPOニッポンランナーズ理 事長 金 哲彦
2	6月21日(土) 9:30~12:00	切り方・計り方・使い方(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
3	7月5日(土) 9:30~13:00	切って計って気軽につくろう(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
4	7月19日(土) 9:30~13:00	おいしいごはん(実習) 【志津公民館 調理室】	西志津中学校栄養士 小林由喜子
5	8月30日(土) 9:30~13:00	健康づくりの食事にひと工夫(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎美知代
6	9月6日(土) 9:30~13:00	おや食定番 手打ちうどん(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
7	9月20日(土) 9:30 ~13:00	煮物・炒め物(実習) 【志津公民館 調理室】	加藤富美子
8	10月4日(土) 9:30~13:00	オープンを使って(実習) 【志津公民館 調理室】	安部井幸江
9	11月15日(土) 9:30~13:00	和食のよさを見直そう(実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎美知代
10	11月29日(土) 9:30~13:00	魚をおろそう(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間由則
11	12月6日(土) 9:30~13:00	あたたかい食卓を囲もう(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間由則
12	1月17日(土) 9:30~12:00	発表会にむけて(討議) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
13	1月31日(土) 9:30~12:00	何をつくろうかな?(講義・討議) 【志津公民館 調理室】	佐倉市立美術館長 荒井 誠
14	2月7日(土) 9:30~13:00	腕前披露(実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
15	2月28日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティーセンター】	クラス委員・運営委員

## 文化活動

### 【開設趣旨】

市内文化施設で行われている事業を中心に、文化・芸術振興についての取り組みを知るとともに、学習成果を活かした市民活動の事例から地域文化の活性化について考えます。

### 【プログラム】

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月31日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演「体幹ランニング」 【小竹小学校】	NPOニッポンランナーズ 理事長 金 哲彦
2	6月14日(土) 9:30～12:00	川村記念美術館で対話型鑑賞教育プログラムを体験 していきましょう 【志津公民館 大集会室】	川村記念美術館学芸員
3	6月21日(土) 9:30～12:00	川村記念美術館で対話型鑑賞教育プログラムを体験 していきましょう 【川村記念美術館】	川村記念美術館学芸員
4	6月28日(土) 9:30～12:00	読書の楽しみ方 佐倉を読む・集める・情報発信する 【志津公民館 大集会室】	中央公民館長 内田儀久
5	7月19日(土) 9:30～12:00	真琴アートの過去・現在・未来 【志津公民館 大集会室】	高橋真琴 画伯
6	8月9日(土) 9:30～12:00	歴史民俗博物館見学 【国立歴史民俗博物館】	歴史セミナーの会
7	8月23日(土) 9:30～12:00	M.C.エッシャーの世界 【佐倉市立美術館】	佐倉市立美術館学芸員
8	9月13日(土) 9:30～12:00	佐倉のオペラ「龍の雨」 - オペラってなあに? - 【志津公民館 大集会室】	音楽事業プロデューサー 馬場 孝之
9	9月27日(土) 9:30～12:00	佐倉のストリートオルガン 【志津公民館 大集会室】	音楽事業プロデューサー 馬場 孝之
10	10月11日(土) 9:30～12:00	芸術を身近に 陶芸に挑戦 【佐倉草ぶえの丘】	草ぶえの丘職員
11	11月8日(土) 9:30～12:00	佐倉ゆかりの洋画家・佐藤事 【佐倉市立美術館】	佐倉市立美術館学芸員
12	11月22日(土) 9:30～12:00	映画の世界 【志津公民館 大集会室】	日本アカデミー賞協会会員 伊東芳幸
13	12月13日(土) 9:30～12:00	発表に向けて(1) 【志津公民館 大集会室】	クラス委員, 運営委員
14	1月31日(土) 9:30～12:00	発表に向けて(2) 【志津公民館 大集会室】	クラス委員, 運営委員
15	2月28日(土) 9:30～16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター】	クラス委員, 運営委員



## 講座を終えて

### 「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土史を学習の柱として自然環境や消費生活問題等をカリキュラムに取り入れ、我が街「志津地区」を学び、「郷土愛を育て」「地域住民の交流の場」としての役割を果たすことができた。

しかし、講座の日程が月2回の全17回であることから、学習の内容が入門編に留まり、多くの受講生から「より深い知識を学びたい」「学習の日程を増やす」などの要望する声があった。なお、受講生による学習成果の発表会では、「しづの散策めぐり＝はじめて知りましたこんな志津を＝」をテーマとして、四つの学習班により地域を分担して調査・研究を行い、それぞれについて検討・集計した資料等をPCに記録し、パワーポイントを使用したプレゼンテーションが披露され、一年間の学習活動の大きな成果の一つとなった。

次年度の学習テーマにおいては、より身近な地域の課題や生涯学習の視点を考慮したカリキュラムの再検討が必要と考えます。

また、講座の修了後における受講者の様々な生涯学習活動と地域づくりへの参加・貢献等をより向上するための方策について、運営委員とともに研究し更なる学習成果を目指すことが課題となりました。

### 「リフレッシュ健康学」

健康学では、地域住民、個人の健康をテーマに実際に体を動かす実技形式の内容から食事・栄養に関する知識を学習する内容まで幅広く取上げ、様々な角度から健康を考える機会を提供することができた。

ただ「健康」という幅広いテーマで、全体を網羅すると広く浅くなってしまう可能性もあり、ある程度対象を絞った専門的な内容を望んでいる受講生も多かったように思われる。

毎年恒例になっている一年間の学習の成果を披露する発表会では、「健康はポンポコ体操から」と題し受講生が講義で教わったことを復習・研究し、協議を重ねた結果素晴らしいものが出来上がった。学習成果の発表それ自体も重要だが「発表までの過程」こそが、一つの大きな成果になったように思われる。

発表会終了後、自然と委員長を中心に班長が集まりOB会の話をしていった。発表会という目標を達成したことで受講生が一つになり、今までOB会の話がなく心配していたが、一年間の集大成である発表会を通して一つにまとまりこのような形になったことは大変意義のあることだと思う。このことは講座開設の趣旨と合致する点であり、大きな成果だと考える。

### 「おやじの食事学」

20年度のおやじの食事学では、調理器具の使い方や栄養・衛生面の留意点など料理の基本について学び、家に帰ってからも実践できる料理を中心に、うどんやパンの手作り体験も交えた調理実習を行った。年間の受講を終えて、「料理を作る喜びを知ることができた」という意見や、「毎日ご飯を作っている妻の苦勞がわかった」という意見もみられた。今後も活動したいという熱心な受講生が多く、OB会として新たにサークルが立ち上げて活動をしていくことになったことは大きな成果と考える。今後地域での活動につながっていくことを期待したい。

毎年応募者が多いコースのため、今年度は昨年度より受講生を5名増やし30名として実施した。世話人も含めて35人の男性が調理室で実習を行ったため、多少狭苦しさはあったが、昨年度受講生である世話人や講師による的確な指導もあり、受講生同士で協力しながら熱心に取り組んでいた。

また、手際がよい受講生が多く、日頃から家事に携わっている男性が多くなっていると感じた。一方で包丁を握るのが初めてという受講生もいたが、各班の中で協力しながら料理を作っている光景が印象的であった。今後プログラム作成にあたっては、料理に慣れている受講生と初心者の双方に配慮した内容にしたいと考える。

## 「文化活動」

「佐倉を切り口にした『文化』」を扱う本コースは、今年度で開講3年を終えた。一年間の成果を発表する準備の段階において、「講座でどういった成果があったのか？何を学んだのか？」ということを変更して振り返る中で、「講座で扱うテーマの幅が広過ぎるので、『文化』は掴みどころが難しく困ってしまう・・・」という感想が、この3年間を通して一様に聞かれた。

しかし、ここで、よくよく考えれば「講座で扱うテーマの幅が広過ぎるので、掴みどころが難しい」という受講者の感想の中にこそ、本講座が掲げる「地域文化の活性化について考える」という目的における成果達成の一端が窺える、というパラドックスに気付かされる。

我々の多くにとって「文化」という概念は、さして珍しい概念ではない。しかしながら、実際のところ我々の多くは「『文化』という概念が具体的に何を指し示しているのか？」ということに思いを巡らせることもなく、ほぼ無意識に「文化」という言葉を用いているに過ぎない。「講座で扱うテーマの幅が広過ぎるので、掴みどころが難しい」という受講者の感想は、「日ごろ無意識に用いていた『文化』という言葉の指し示す概念を改めて考えた結果、『文化』が非常に幅の広い捕えがたい概念であることに気付いた」からこそその言葉であろう。その意味で「講座でどういった成果があったのか？何を学んだのか？」という問いへの答えは、既に受講者自身によって出されていると言え、そしてそれは同時に本講座の成果の一つと考える。今後も、一人一人の内からの変化を育むような講座を目指してゆきたい。

## 研究科

### 【開設趣旨】

研究科は、しづ市民大学の修了者を対象として開設しています。

自ら学習を進めるゼミナール方式により、学習課題を見つけて調査活動を行い、その活動結果を議論し、整理した成果について発表し、志津地域住民に発信していくことを目指して実践していきます。

### 期 間

平成20年5月から、平成21年度末までの2年間とします。

### 成 果

平成20年度末には、1年間の実績を文書等でまとめられるように、調査研究を進めます。  
平成21年度末には研究成果の発表会を行います。

### 費 用

受講料は、無 料  
ただし、個人の教材費・材料費・入場料・交通費は自己負担となります。

### 会 場

佐倉市立 志津 公民館

### 日 程

毎月2回定期的に行います。第2・第4土曜日 9時30分～12時  
なお、必要に応じて臨時に行うことがあります。

## 【研究テーマ】

### 「志津の一年」について

本年度の研究科は、志津地域における自然、伝承行事、花や樹木、現代の行事などに関して、「未来に伝えよう、守っていこう、志津の素晴らしさ」「人にやさしく住みよい志津の街」をサブテーマとして、「志津の一年」について調査研究を

行い、志津地域住民に対して発信していくことを目指してスタートしました。

研究期間は21年度末までの2年間とし、平成22年の2月までに研究内容をまとめていくこととし、学習成果の発表に向けて調査研究活動を進めています。当初5名のメンバーでスタートしましたが、健康上の理由などにより、現在実質3名によって調査研究を行っています。

### 【6月～8月】

研究科の開設趣旨を確認するとともに、各参加者からの意見、希望などを出し合い、研究テーマを絞り込みながら、具体的な調査研究するための話し合いを行いました。

### 調査活動

- 【9月】 市内の神社・寺院・名勝地などの現地視察
- 【10月】 中志津自治会スポーツレクリエーションまつり  
上座の熊野神社の秋まつり  
第35回志津公民館祭  
ユーカリフェスタ
- 【11月】 先崎の鷲神社の祭  
中志津の高千穂神社の七・五・三  
佐倉市民文化祭、上志津原の遊歩道と並木  
佐倉西部自然公園の子ども自然観察会  
中志津自治会設立40周年記念事業  
上座の宝樹院の山茶花、紅葉
- 【12月】 青菅の老人保健介護施設「優都苑」訪問  
皇帝ダリア（民家）、上座公園のイチヨウ・メタセコニア
- 【1月】 「初日の出」佐倉西高校グラウンドから見て  
朝日をあびるユーカリが丘マンション  
中志津の高千穂神社の初詣  
上座の熊野神社の正月風景、民家の門松風景  
青菅のどんどれえ（14日）  
井野の辻切り（25日）
- 【2月】 節分の豆まき（北志津保育園）
- 【3月】 次年度へ向けての打合せ

## 特別講座 パソコン教室

開設趣旨 しづ市民大学受講生を対象として、地域の情報交換や受講生の結びつきを深め、地域への感心を高める手段としてパソコンを活用することを学習する。また、将来パソコン教室のサポーター養成及びパソコンによる地域への情報発信ができることも併せて目的とする。

会場 志津公民館

対象者 しづ市民大学受講生

指導協力 ホームページ「しづのまちづくり」の会

初級講座（4回）パソコンにさわったことのない人対象（受講生8名）

資料室・相談室 午前9時30分～11時30分

午後1時30分～3時30分

9月4日（木）パソコンの取り扱いの基本とゲームによるマウスの練習

9月11日（木）お絵かきによるマウスの練習

9月18日（木）メール作成画面での文字打ち等、キーボードの練習

9月25日（木）サポーターに各自の学びたいことを質問する個人練習

中級講座（4回）ホームページ作成と画像処理（受講生6名）

資料室・相談室 午前9時30分～11時30分

10月2日（木）ホームページ作成

10月9日（木）ホームページ作成

10月16日（木）ホームページ作成

11月6日（木）ホームページ作成 と作品をUPする

中級講座（4回）ホームページ作成と画像処理（受講生6名）

資料室・相談室 午前9時30分～11時30分

11月20日（木）ホームページ作成

11月27日（木）ホームページ作成

12月4日（木）ホームページ作成

12月11日（木）ホームページ作成 と作品をUPする

中級ワード講座（4回）ホームページ作成と画像処理（受講生6名）

資料室・相談室 午前9時30分～11時30分

1月29日（木）ワードの基本

2月5日（木）ワードの基本

2月12日（木）ワードの実践・市民大学閉講式のプログラム作り

2月19日（木）ワードの実践・市民大学閉講式のプログラム作り

## まとめと感想

平成20年度しづ市民大学パソコン教室は、志津公民館資料室と相談室を使用し、前年度どおり9月から開設しました。

初級講座は受講者が8名であったため、午前と午後に分けて実施いたしました。中級講座では、ホームページ作りに意欲的に取り組まれ、しづのまちづくりのホームページを借り、期間限定ながらUPしました。インターネットで見る自分のホームページに喜んでいただけたものと思います。

中級ワード講座は、基本的な知識を習得している方が多く、しづ市民大学閉講式のプログラム作りに協力していただきました。

今後参加される市民大学受講生は、仕事でパソコンを利用されている方が多いと考えられます。デジタルカメラによる写真の画像処理や、それを利用したホームページやブログ作りを楽しみ、地域活動に参加し情報交換されることを願っております。

結びに、パソコン教室をサポートしていただいた、ホームページ「しづのまちづくり」の会員の皆さんには心から感謝を申し上げます。

## 4 . 広報・展示事業

### 志津公民館だより

趣 旨 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して伝える。

発行回数 年 3 回

発行部数 各回 25,000 部

配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架

### 内 容

第 2 1 1 号 ( 5 月 1 日 )	第 2 1 2 号 ( 1 0 月 1 日 )	第 2 1 3 号 ( 平成 2 1 年 1 月 1 5 日 )
募集案内 ( 主催事業 ) しづ市民大学 志津子ども教室 お母さんと遊ぼう 自然環境講座 子ども理科実験教室  募集案内 ( 共催事業 ) 自分史講座	募集案内 ( 主催事業 ) 志津子ども教室 自然環境教室 子ども理科実験教室 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座 地域づくり入門講座  募集案内 ( 共催事業 ) 志津JLCクリスマス会 自分史講座  行事案内 第 3 5 回志津公民館祭	募集案内 活動サークル紹介  事業報告 第 3 5 回志津公民館祭 志津JLCクリスマス会  志津公民館利用案内

### 今後に向けて

今年度も例年どおり 3 回 ( 5、10、1 月 ) しづこうみんかんだよりを発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。今年度は 1 月号で公民館で活動しているサークルを紹介した。電話、窓口で多数問い合わせがあり、地域住民のサークル活動に対する関心の高さが伺えた。今後は利用者等から意見をいただき、地域住民の声も紙面に取り入れながら、地域が必要としている情報等を発信していきたいと思う。

## 5 . 団体育成事業

### 第35回 志津公民館祭

開催趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

開催日時 10月24日(金)～26日(日)  
10時～16時(最終日は10時～15時)

会場 志津公民館 西志津ふれあいセンター

主催 志津公民館祭実行委員会

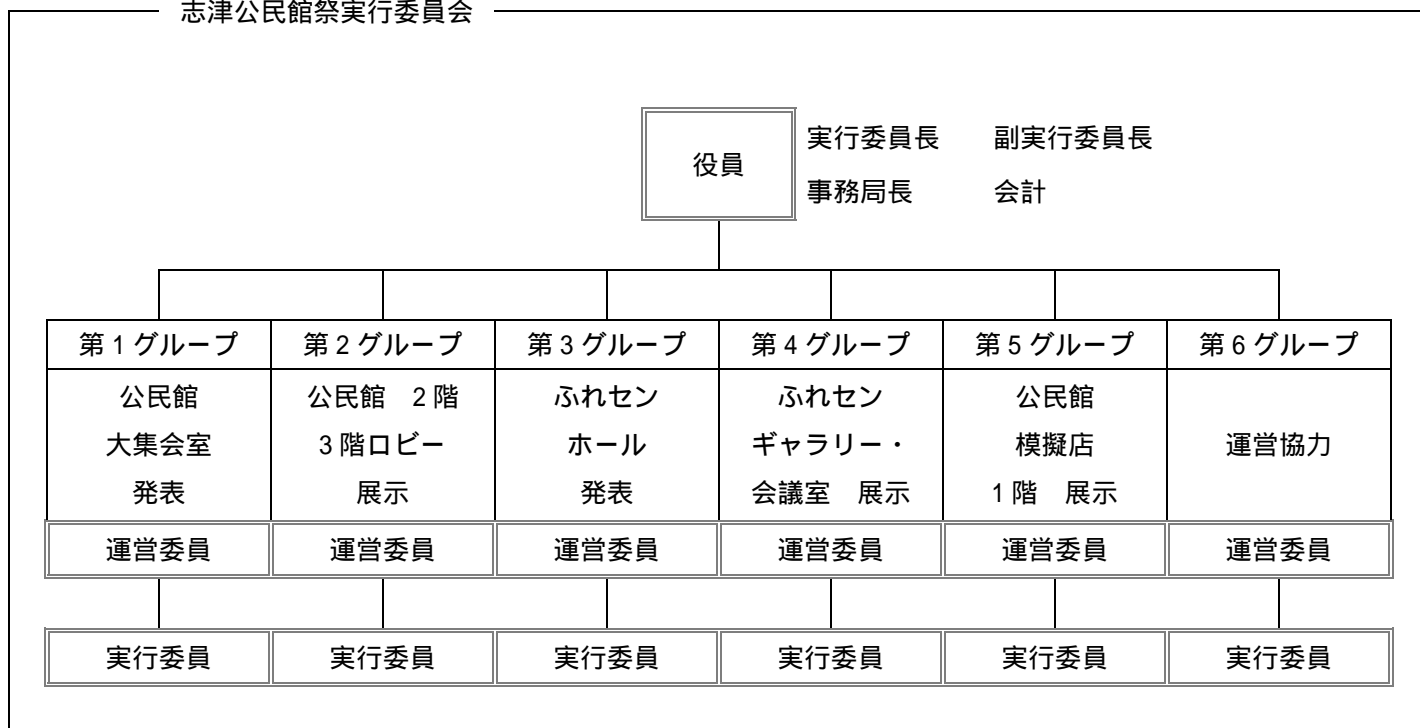
実行委員長 石井 登喜男(うたのひろば・佐倉)

副委員長 山根 孟洋(スケッチブック)

事務局長 吉見 律子(スケッチブック)

会計 矢島 俊典(佐倉・中国語を楽しむ会)

志津公民館祭実行委員会



参加 93 団体

実施経過 (別表)

参観者 1,720 人

今後に向けて

発表、展示、販売等、公民館利用サークルの日頃の活動成果が、志津公民館と西志津ふれあいセンターを会場として披露された。会期3日間中、激しい雨に見舞われる日もあり、参観人数への影響があやぶまれたものの、3日間で延べ1,720人の参観者が訪れた。18年度から行っている餅つきは、その販売実績を考え、去年より多く用意されたが、すぐに売り切れとなる人気であった。

本年度は志津公民館祭が35回目を迎えた記念事業として、来賓をお呼びしてのオープニング行事を行った。オープニング行事では、多くの来賓の祝辞を頂いたうえに、同好会フラミンゴによるダンスがおおいに華を添えてくださり、節目の年に相応しい式典となった。この他の記念事業として、更に、公民館祭参加サークルの方々に呼びかけ、記念誌を作成した。35年の長きに渡って「なぜ公民館祭が続き得たのか？」を振り返ると共に、多くのサークル活動の変遷が垣間見える貴重な資料となった。公民館祭への参画意識の低下が課題となる中、この記念誌が多くのサークルに公民館祭への参画意識の向上を促す幾ばくかのきっかけになればと願う。今後も、参加団体が運営に關与しやすい環境づくりへの支援を継続することにより、利用者の手による公民館祭を目指したいと考える。



【 別表 】第35回志津公民館祭 実施経過

月・日	曜日	会議名など	検討事項など	開会時間・場所
4 / 1	火	アンケート回答締切		
4 / 20	日	第1回実行委員会	・第35回公民館祭の開催(確認) ・運営委員の選出	14:00 大集会室
4 / 20	日	第1回運営委員会	・四役選出	実行委員会終了後
5 / 11	日	役員会議	・実施計画案・参加申込書書式の検討 ・子ども体験コーナーなどの検討	13:30 資料室
5 / 18	日	第2回運営委員会	・実施計画案・参加申込書書式の検討 ・子ども体験コーナーの検討 など	12:30 大集会室
5 / 18	日	第2回実行委員会	・実施計画案・参加申込書の決定 ・子ども体験コーナーなどの承認	14:30 大集会室
7 / 1	日	参加申込み締切		
7 / 6	日	役員会議	・実施計画詳細案の検討	13:30 資料室
7 / 13	日	第3回運営委員会	・実施計画詳細案の検討	14:00 中集会室
8 / 3	日	第3回実行委員会	・実施計画詳細案の決定	14:00 大集会室
9 / 14	日	役員会議	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	13:30 資料室
9 / 20	土	第4回運営委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	12:30 大集会室
9 / 20	土	第4回実行委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	14:30 大集会室
10 / 7	火	西志津ふれあいセンターとの打合せ(ホール使用)		
10 / 11	土	西志津ふれあいセンターとの打合せ(ギャラリーなど使用)		必要に応じて実施
10 / 22	水	役員打合せ(13:00) 4グループ ふれあいセンターへパネルなど運搬(14:00) 中集会室利用サークル パネル移動(15:00) (会議室・相談室利用サークル・希望によりパネル移動可能) 調理室(本日から公民館祭準備のために使用)		
10 / 23	木	設営(9:30)・搬入(10:30)		
10 / 24	金	西志津ふれあいセンターホールでのリハーサル(希望サークル)		
10 / 24	金	第35回志津公民館祭(第1日)		
10 / 25	土	第35回志津公民館祭(第2日)		
10 / 26	日	第35回志津公民館祭(第3日)		
11 / 9	日	第5回運営委員会	・第35回公民館祭の反省事項のとりまとめ	14:00 中集会室
11 / 16	日	第5回実行委員会	・反省会(より良い公民館祭をめざして)	14:00 大集会室
21年2 / 18		役員会議	・第36回公民館祭開催について	資料室

## グループ運営研修会

開催趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

対象・人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者  
71 団体 78 名

開催期日 平成21年3月16日(月) 午後1時30分～3時30分

学習内容 講演 「公民館でのサークル活動とは」  
公民館使用の注意事項について  
意見交換  
火災を想定した避難訓練

今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指します。

また、公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

## 調理室利用者会議

開催趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

対象・人数 定期利用している料理グループ  
参加者 12 団体 24 名

開催期日 6月30日(月) 午前10時～12時

会議内容 ・ 調理室の利用説明と要望・意見交換  
・ 調理室の清掃(調理器具の点検)

今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

\* 調理備品・器具の点検 \* グループ備品の整理整頓 \* 生ゴミ・廃油等の処理の徹底

## 志津地区子ども会育成会連絡協議会（志津子連）

**概要** 志津地区子ども会育成連絡協議会は、佐倉市子ども会育成連盟（市子連）のもと、志津公民館が事務局となって、志津地区の単位子ども会の団体間、および市子連・志津JLC等との連絡調整を行い、各子ども会の活動・発展を支援している。

参加団体の減少により、平成10年度から志津子連独自の事業は実施していない。現在は、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

**加入団体** 単位子ども会 9 団体

**活動内容** 千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（4月）  
千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付  
志津JLCクリスマス会 行事案内（11月）  
活動支援相談・連絡調整  
20年度千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（2月）

## 志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

**概要** 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館では、その活動を支援している。

**主な活動** 単位子ども会への協力・行事支援  
志津公民館祭参加  
ジュニアリーダー初級認定講習会（主催 佐倉市教育委員会）への指導・運営協力  
佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への参加・運営協力  
志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営

## 6 . 図書事業

---

### 図書等の貸し出し

**内容** 図書やビデオなどの貸出・返却業務を行う。

**蔵書数** 300冊

**実施期間** 通年（公民館開館時間）

**貸出方法** 1人 5冊

**貸出期間** 2週間

**年間貸出数** 一般 17点  
児童 2点  
DVD 0点  
計 19点（内、視聴覚資料 0点）